

多汗症・わきがの治療法

多汗症の治療法

① 塩化アルミニウム液（保険診察 + 薬液 約¥500/100ml）

汗と反応して水酸化アルミニウムという物質を作り、それが皮膚の上にあるケラチンと反応し角栓を作ることで汗腺をふさぐ事ができます。

寝る直前に、塩化アルミニウム液を手に取り、気になる所にパンパンとたたきつけ、扇風機やドライヤーの冷風で乾かします。

これを3回繰り返し、できるだけ万歳の姿勢で眠りについてください。

効果を感じたら、いったん使用を中止します。そのまま使用し続けると、効果がでにくくなります。



② BOTOX 注射（自費 ¥39,000 ~）

ボツリヌス菌毒素が、交感神経の末端で発汗を促進させているアセチルコリンという伝達物資を抑制し、汗を出にくくします。

麻酔クリームを塗って片わき 50カ所ほど注射をします。効果の持続は約半年です。

③ INFINI HYBRID（高周波治療）（自費 ¥37,000/回）

高周波で汗腺を変性させます。症状によりますが、2、3か月ごとに、2～6回施術をします。数年間効果が持続します。

④ プロバンサインの内服（保険適応）

大事な場面で汗をかきたくない！という日に内服します。

汗を止めたい30分～1時間前（できれば空腹時）に1～2錠内服すると、3～4時間全身の発汗を抑制できます。

緑内障、前立腺肥大、心疾患のある方は内服できません。

のどの渇き、顔のほてり、頭痛、便秘といった副作用があるので長期内服はお勧めしません。

夏は熱中症になる可能性があるため、十分水分を摂取してください。



上記①～④は多汗症の治療です。

発汗量を減らすと臭いも減る傾向にあるので、わきがにも効果が期待できます。

わきがの治療法

① 女子なら脱毛レーザーも試す価値あり（自費¥9,500/回）

毛穴に溜まった汗を常在菌が分解することにより臭いが発生します。脱毛レーザーで毛をなくすことで毛穴が退化すると、汗が毛穴に溜まらなくなるため、臭いも減ります。

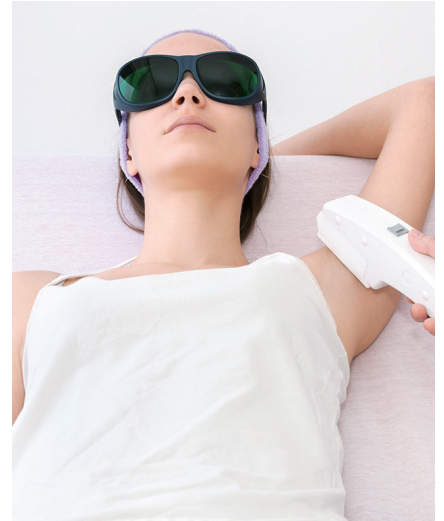
② アポクリン腺を切除する手術 （保険適応 3割負担で約¥42,000）

日帰り手術ですが、片わきにつき約1時間半かかります。

術後は、丸めたガーゼをわきに縫い付けた状態で、約1週間過ごさなくてはなりません。

その間は、ひじから先しか動かすことができず、入浴も腰から下のみになりますので、かなりの覚悟と準備が必要です。

また、片わきにつき、5～6cm長さの傷痕が2本ずつ残ります。



予約はHPから、またはお電話でもお受けしております。

ホームページ <http://yanoclinic.jp>

予約専用フリーダイヤル 0800-200-4371